

新和新聞

尾道を元気にする私たちの笑顔で。

2026年7月号

尾道
企業

<http://www.shinwabs.co.jp>

熊鷹クリーンクルー
ひらすまきん
外伝

ぞれゆけ!

No.215 バトナム実習生



小林輝久社長コラム

YouTubeにて不動産評論家の牧野さんと京都大学の森教授の動画（人口減少における無価値不動産について）を拝見しました。東京においても昨年末に新築マンションの価格がピークアウトを迎え、今後20年から30年で団塊世代が亡くなると空き家が大量に発生するので、一部を除き不動産価格は下がるとの事です。なおさら地方では不動産価値を維持する為に計画的に設備更新が必要です。顧客の皆様へ適切なタイミングで設備更新を提案してまいりますのでよろしくお願いいたします。

新和トピック

令和8年度 会社方針発表会を開催しました

6月26日、令和8年度の会社方針発表会を開催しました。

発表会では、会社を取り巻く環境や昨年度の振り返りを共有するとともに、本年度の経営方針や重点目標について説明が行われました。社員一人ひとりが会社の方向性を理解し、目標達成に向けて同じ意識を持って取り組むことの重要性を再確認する機会となりました。また、各部署から今年度の目標や取り組み内容について発表があり、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。発表会終了後は懇親会が開催され、おいしい料理を囲みながら社員同士の親睦を深めました。さらに、ビンゴゲーム大会では豪華景品が用意され、大いに盛り上がりました。最後には参加者全員で記念撮影を行い、笑顔あふれる中で会社方針発表会を締めくくることができました。今後も全社員が一丸となり、お客様により良いサービスを提供できるよう努めてまいります。



建築設備診断技術者(ビルディングドクター)からの提言

消防設備リニューアルの必要性について

消防設備は15~20年を目安に劣化が進み、故障や旧設備のままでは法令不適合となる可能性があります。部品供給停止や修理不能となる前に更新することで、安全性を確保し、建物の資産価値と利用者の安心を守ることが重要です。



主な対象設備と更新ポイント

主な対象設備は、自動火災報知設備、スプリンクラー・消火ポンプ、非常用照明・誘導灯、消火器です。自動火災報知設備は経年劣化による誤報や故障を防ぐため一斉更新が推奨されます。スプリンクラーや消火ポンプは性能や容量を確認し、必要に応じて改修・増設を検討します。非常用照明・誘導灯はLED化やバッテリー交換により省エネと維持管理の負担軽減が可能です。消火器も更新時期や規格変更に合わせて交換し、計画的な更新で安全性と法令適合性を確保することが重要です。

廃棄物部だより

廃棄物業界のリアルな人材不足事情

廃棄物収集運搬をするにあたって欠かせないのが、中型免許です。取得に時間と費用がかかり、若年層の参入障壁は依然として高いのが現実です。幸いにも当社は若い人材が集まり現場を支えてくれていますが、業界全体で見ると人手不足は深刻です。この先も安定したサービスを維持するためには、業界全体での環境整備が求められています。



発行元



新和ビル・サービス株式会社